

令和 8 年度 住之江区区政会議

第 1 回 防災・安全部会 会議録

1 開催日時 令和 8 年 5 月 18 日（火） 19 時 00 分から 20 時 00 分まで

2 開催場所 住之江区役所 第 3－1・3－2 会議室

3 出席者

〔区政会議委員〕

五十崎 晴久 委員、大山 妙子 委員、太郎良 勇仁 委員、

中川 隆夫 委員、浜野 真季 委員、山中 啓輔 委員

（出席 6 人／定数 8 人）

〔住之江区役所〕

玉置 信行 副区長

戸井 正人 防災安全担当課長

峯上 和博 防災安全担当課長代理

4 発言内容

○戸井防災安全担当課長

皆様、こんばんは。定刻となりましたので、これから開催させていただきます。

それでは、令和 8 年度住之江区区政会議第 1 回防災・安全部会を開催いたします。
事務局の住之江区役所協働まちづくり課の防災安全担当課長の戸井でございます。よろしく願いいたします。

それでは、本日、ご出席いただいている委員の皆様をご紹介します。お手元

の名簿にてご確認ください。

会場に今、現在、お越しにいただいている委員は、五十崎部会長、あと、大山委員、中川委員、浜野委員、そして、山中委員でございます。

まだちょっと19時なんですけれども、まだ全員がおそろいではないようなんですけれども、本会議は、午後7時現在、全委員8名中の5名の方がご出席いただいておりますので、定足数である委員定数2分の1以上を満たしておりますことをご報告いたします。

その他の住之江区役所の出席者につきましては、昨年度と変更ございませんが、配席表にてご確認ください。また、発言する際には、役職と名前をお伝えいたします。

この会議には、個人情報などの非公開情報はございませんので、公開とさせていただきます。

また、本日の傍聴者はおられません。

なお、大阪市では、近年の気候変動対策をはじめとする環境施策や職員の働き方改革の観点を踏まえまして、軽装勤務の通年化を実施しております。気温や体調等に応じた快適な服装での会議出席となりますので、ご了承ください。

本日の議論内容は、6月22日、月曜日に開催予定の区政会議全体会で部会長からご報告いただき情報共有を図ってまいりたいと考えております。

また、議事録につきましても後日公表となり、公表する際は、発言者と発言内容についても公開されますので、ご承諾いただきますようよろしくお願いいたします。

広報や記録のために写真も撮影させていただきますので、あわせてご了承くださいますようお願いいたします。

それでは、本日の資料の確認をさせていただきます。

まず、1枚目のこの「次第」でございます。

続きまして、「防災・安全部会委員名簿」ということで両面になってまして、裏側が全体の委員の印刷がついております。

続きまして、「配席図」でございます。

続きまして、ホチキス留めの資料 1 ということで、「令和 7 年度住之江区運営方針振返り（案）について」でございます。

続きまして、「区政会議について」でございます。

その次、「ご意見をいただきたい事項」ということで、ちょっと赤いのがついています。

その次が、「いただいたご意見への対応方針」ということでホチキス留めでございます。

そのほか、ちょっとカラー刷りで、「避難カード」のちょっとつるつとした両面刷りのやつが、これが古いほうの「避難カード」になってございます。その次に、片面刷りの「避難カード」ということで、これは、後ほどご説明いたしますけれども、改良版ということで最新版になっております。ちょっとまた、後ほどご説明いたします。ございますでしょうか。

それでは、本日の会議ですが、現在、策定に向けて進めております「令和 7 年度住之江区運営方針振返り（案）について」ご報告いたしまして、今年度以降の各取組につなげていけるようご意見をいただきたいと考えております。

時間は、本日 20 時までの 1 時間を予定しておりまして、スムーズな議事進行にご協力のほどをよろしくお願いいたします。

なるべく多くの委員様からご意見をいただきたいと思いますので、1 回当たり 2 分を目安としてご発言いただきますようお願いいたします。2 分が経過いたしましたら、事務局よりお知らせいたしますので、ご意見をおまとめの上発言をお願いいたします。

それでは、議事を開始いたしますので、部会長にお任せいたしまして進めていきたいと思いますので、五十崎部会長よろしくお願いいたします。

○五十崎部会長

皆さん、こんばんは。どうもお疲れさまです。

それでは、部会の議事を進めさせていただきます。

本日は、「令和7年度住之江区運営方針振返り（案）について」議論いただきます。

早速ではございますが、事務局より説明をお願いいたします。

○戸井防災安全担当課長

それでは、本日の資料につきまして、資料1の「令和7年度住之江区運営方針振返り（案）について」となっております。

運営方針とは、住之江区が重点的に取り組む課題を挙げまして、その課題を解決することを目的とした取組を掲げたものとなっており、令和7年度も、子どもに関すること、地域と福祉に関すること、そして、防災防犯に関することの3つの経営課題を掲げてまいりました。

当部会では、そのうちの、経営課題3としまして、「安全・安心なまちづくり」についてご議論いただくこととなります。

資料には、この課題でめざす主なSDGsゴールを掲載していますので、参考にご覧ください。

それでは、具体的な説明に入らせていただきます。資料1のほうをご覧くださいます。

1ページ目につきましては、運営方針の区の目標や全体としての方針をまとめております。

2ページ目、3ページ目のところでございますけれども、これには、令和7年度運営方針の設定根拠やデータを掲載しております。

4ページ目以降には、これまでの取組実績及び成果指標を記載しております。

この資料に基づいて、ご説明させていただきます。特にご意見をいただきたい箇所につきましては、別紙でご案内しております。

それでは、資料の 5 ページの 3－1、災害に強いまちの各取組についてです。

まず、具体的取組 3－1－1、自助・近助・共助による防災力の向上と圧倒的多数の人材育成に係る取組としまして、地域が主体となった防災訓練への支援や、小中学校や民間企業、地域等を対象とした出前講座を実施いたしました。

地域防災力の向上に向けましては、訓練や出前講座を通じて災害に関する正しい知識や、災害時の適切な行動について理解する必要があり、引き続き、防災アドバイザーと連携して取り組んでまいります。

次に、6 ページをご覧ください。

具体的取組 3－1－2 としまして、減災のための環境整備に係る取組でございます。

津波避難ビルや防災パートナーの拡充に取り組んでまいりました。また、避難所の備蓄物資の充実としまして、ベビーベッドや蓄電池を配備するなど、避難所の充実に努めてまいりました。引き続き、津波避難ビルや防災パートナーの拡充に向け、企業・NPO・学校地域等交流会の場を活用するなど、協力いただける企業等の拡大に努めたいと考えております。

10 ページをご覧ください。

前回の区政会議全体会でも、情報発信の重要性について、委員の皆様よりご意見をいただきました。防災の取組についても情報発信を行っており、区の広報紙さざんかでは、年に 2 回程度、防災特集として啓発を行っております。

加えて、区ホームページによる情報発信や、区フェイスブック、区 X といった SNS を活用した情報発信も行っているところです。今後も、委員の皆様のご意見を参考にしながら、情報発信に努めてまいりたいと考えております。

続きまして、3－2 防犯意識の高いまちの取組についてご説明いたします。

少し、資料を戻っていただいて、8 ページをご覧ください。

具体的取組 3－2－1 ということで、防犯意識の向上に向けた啓発に係る取組に

ついてでございます。

市内在住の65歳以上の高齢者がいる世帯への対策としまして特殊詐欺被害防止録音機の貸与や、特殊詐欺被害防止キャンペーンとしまして、住之江警察署と連携して、年金受給日に合わせた啓発チラシの配布や防犯出前講座を実施いたしました。引き続き、住之江警察署と連携し、取り組んでまいりたいと考えております。

続きまして、9ページをご覧ください。

具体的取組3-2-2ということで、街頭犯罪抑止のための環境整備に係る取組でございます。

青色防犯パトロールカーによる区内の巡回を実施いたしました。巡回にあたりましては、小学生の下校時間に合わせた巡回や、安まちアプリで配信のあった情報を基に巡回ポイントを強化するなど、効果的な巡回を実施してまいりました。

また、ひったくり防止カバー取り付けキャンペーンを実施するなど、犯罪抑止に向けて取り組んでまいりました。

次、11ページをご覧ください。自動通話録音機について掲載してございます。

自動通話録音機は、録音する旨の警告アナウンスが流れ、特殊詐欺の犯人の声を録音することで、電話接触を極力少なくすることができることから、特殊詐欺被害の防止に非常に有効となっております。住之江区では、令和4年度から始まりまして、令和8年3月現在で443台の自動通話録音機を貸与している実績がございます。委員の皆様におかれましても、ご家族やお知り合いの方から相談がございましたら、ご周知いただきますようよろしくお願いいたします。

以上、報告いたしました取組につきまして、より効果的な取組となるよう今年度も取り組んでまいりますので、よりよい取組となるよう幅広く皆様のご意見をいただきたいと考えてございます。

また、参考資料としまして、先ほどちょっと資料のときに出しました「避難カード」をご用意しておりまして、そちらのほうをご覧いただきたいと思います。

も、まず、ちょっと両方開けていただきながら見ていただくのがいいのか、ちょっと難しいあれはあるんですけど、まず、改良されている「避難カード」は、この裏面が真っ白のこちらのほうが事務局のほうで考えた案なんですけれども、古いほうご覧いただきますと、ポイントをちょっとこれからご説明するんですけども、まずポイントの1つ目、字を少しだけ大きくさせていただきまして、ちょっと見やすくしました。あと、古いほうをご覧いただいたら、コロナ禍のところ、⑧と書いてある2列目のところですね、この「コロナ禍での避難行動」を削除して、「非常持ち出し袋」のページを新設させていただきました。

最後に、修正前の「避難カード」では、裏面に浸水想定を掲載しておりましたけれども、ちょっと折り曲げたりとかいろいろするものではございますので、表面にQRコードでその部分が確認できるように変更しました。

この「避難カード」につきましても、時世に応じた「避難カード」となりますように、随時、ブラッシュアップを続けてまいりたいと考えております。もし、この内容について、ご意見等がございましたら、またお聞かせいただければと考えております。

また、「避難カード」は有事の際に使用するだけでなく、ふだんから防災に関心を持ってもらうきっかけづくりということで活用していただきたいと考えてございます。前回の区政会議でご意見をいただきましたように、小中学校を通じて配布し、保護者の方々にも活用いただくことも考えてございますし、出前講座等で実際に記載してもらうなど、防災に関心を持ってもらえるような活用の仕方も考えてございます。

最後に、これまでもご意見をいただきましたけれども、別紙についてますように、「より多くの人に防災・防犯活動に参加してもらうための方策」であったりとか、「区民の防災意識の向上に向けどういった取組が効果的であるか」などにつきましても、あわせてご意見をいただければと存じます。

私からの説明は以上でございます。部会長、よろしくお願いいたします。

○五十崎部会長

ありがとうございました。ただいまの事務局の説明を受けて、各取組についてのご質問や、よりよい取組にするために必要なこと、また、事務局から特にご意見いただきたいと依頼のあった内容について、ご意見・ご提案をいただければと思います。なるべく多くの委員からご意見をいただきたいと思いますので、簡潔にお願いします。

今まだ半数なので、先ほど2分を3分ぐらいに延ばしてもいいかなと、どの取組からでも結構です。よろしくお願いします。

そしたら、また、中川さんのほうから回っていきましょうか。

○中川委員

特に、質問は別になんですけど、同じことの繰り返しという感じがあるんですけどね、変わったことをしても必ず参加できるとかいうあれはないと思うんですけど、より多くの方に防災活動に参加してもらうために、ちょっとこの間、今、ふれあい喫茶ってやってますね。その延長上で、防災フェアというのをやらせていただいたんですよね。だから、そのお年寄りが、その防災フェアに参加していただいて、この防災食とか、うちは独自に携帯ではないトイレを買ったんですね。それを見て、ここはどうのこうの意見をいっぱい出していただきまして、このトイレはあかんとかええとかいう話が出て、ちょっと興味を注いだのかなと思います。

先ほども言っとったんですけど、防災訓練は小中一貫校と一緒にやってます、今。あまりにもその数が多くて、一般の人らに参加してもらうんですけど、訓練に参加しても見てるだけということになってしまうんですね。それはやっぱり、ちょっと考えようということで、別の日に独自でやろうかという形で、今ちょっと進めてるんです。まだ具体的なのは決まってないんですけど、今期には、一応、別々にやろうという形で考えております。

また今度、中高一貫校のほうが防災部というのができてまして、そこが、かなり積極的にこっちへ声かけがありますので、またそれもひっくるめて、ちょっと考えて

みようかという話で行っております。中高は大分動けますので、一緒にやれば良いと思います。

話はまた変わりますが、この何やったかな、特殊詐欺防止、一応うちにもあるんですけどもね、ちょっと配線を間違えたか知らんが、一応ついているんですけど、かかってくるのはかかってきます。だけど、すぐに切れてしまいますので、よく使わせていただいています。

○五十崎部会長

ありがとうございます。

○中川委員

取り留めのない話で申し訳ございません。

○五十崎部会長

ありがとうございます。

次、浜野さん順番に、すいません。

○浜野委員

すいません、質問事項なんですけど、これ新しくされるということなんですけど、いつぐらいに正式版が発行になりますか。

○戸井防災安全担当課長

正式な手続は、今ちょっと考えてはないんですけど、こちらで、一回ご意見をいただいて、また6月の全体会でもまたお披露目した上で、できるだけ早いうちというふうには思っているんですけど、まだ、何月何日とか、そういう感じでは考えていません。

○浜野委員

これは、冊子ができたら、どこかに受け取りに行ったらいただけるようなもの。

○戸井防災安全担当課長

お渡しもできますし、そういった事業とか訓練とか、必要な場を通じてお配りす

るようなところから始めたいなと思っております。

○浜野委員

なるほど、分かりました。ちょっとうちも年に1回、防災訓練ってやっているの
で、何かこれ使って、みんなで書いてみるとかやってみたいなと。

○戸井防災安全担当課長

そうですね、書いてきっかけづくりを。

○浜野委員

そうですね。

○戸井防災安全担当課長

していただくのは、一番ありがたいですね。

○浜野委員

ですよ。はい、ありがとうございます。

うち、子どもが小学校、粉浜のほうに行ってるんですけど、今回の学習参観で、
結構、防災関係のことを自分たちで調べて、ハザードマップどんなんやとかいうのを
みんな小学校5年生、ちゃう4年生のときか。4年生なんですけど、前でプロジェク
ターでまとめてね、全部パワーポイントでやってて、何かそれがすごい保護者の人
にも好評で、何かそういうのと掛け合わせてすれば、もっと何か知名度が一気に上がる
んじゃないかなっていうふうには思いました。今まで参加した学習参観で、一番子ど
もも大人も集中しての授業になったので、何かそういうことができれば。

○戸井防災安全担当課長

いいきっかけづくりになれたということなので、そういう情報もいただきながら、
どこでお渡しすると効果があるかとかいうのも含めてご意見をいただきましたので、
参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

○浜野委員

あと1点だけ、ごめんなさい。犯罪のところの3ページですかね。こういうのっ

て、アプリか何かで配信はされてますか。

○戸井防災安全担当課長

安まちアプリというのがございまして、警察が出しているやつなんですけども、そういうアプリで配信されているものもありますし、それを基に区役所の公式フェイスブックであったりとかに、そのまま転用した形で送るようにもしてます。

○浜野委員

そうですか、分かりました。ありがとうございます。

○戸井防災安全担当課長

はい、お願いします。

○浜野委員

質問ばかりで。

○戸井防災安全担当課長

いえいえ、全然大丈夫です。

○五十崎部会長

山中さん、お願いします。

○山中委員

すいません、はい。うちより加賀屋地域になるんですけど、うちも加賀屋地域、年に1回、毎年11月3日ぐらいやったと思うんですけど、そのときに地域で防災訓練とか、そういったものをさせてもらってるんですね。やっぱりね、参加される方っけもう決まった人になってます。やっぱりね、全員、この加賀屋のまちに住んで、大体、祝日でやってるから、まだね、比較的参加しやすい状況ではあるのかなと思うんですけど、なかなかやっぱり関心を持ってもらえないから、その何やろう、やっぱりね、そこの防災意識ってね、多分、みんなどっか他人事なんですよ。だから、自分大丈夫とか、大阪は基本的にやっぱり台風もなかなか来にくい地域ですし、いざ、だから、阪神淡路大震災ももうね、もう30年以上前のものになるんで、恐らくその意識

ってというのが大分薄れている。だから、自分は大丈夫だろうという意識が、すごいやっぱり防災意識の低いというのが思うところがあって、でも、いざ起こってどうしようってなったときは、もう遅いんですよね。本当にね。やっぱり、それまでに備えるとか、ちょっとでも知識をつけるっていうのは大事なところになるんですけど、そこに関心がなかなか行かないというところが一番ネックで、前、僕、ちょっと前の会議のときにもしゃべらせてもらったと思うんですけど、あべのタスカルのほう、P T Aのほうであべのタスカルのほうでちょっと研修をさせてもらって、その実際の津波が起こったときの被害というか、映像で見させてもらったんですけど、あれを何かこちら辺のこの地域、身近な地域で、何かそのシミュレーションみたいな映像ってつくれないものですかね。何か、もう自分が、もろ住んでるこの地域のところで、津波が来たらこんな被害が出るんやっていう、もうね、言うたらタスカルはどこの地域なんか分からんところでやってるから、それ見ただけでも、僕はかなりショッキングな映像やったんで、もうすごいこれは、ちょっと怖いなと思ったんですけど、やっぱり自分の住んでる地域でも、津波が来たりとか地震が来た、じゃあここもう自分が知ってる建物が崩れちゃったとか、その自分がよう行ってたお店とかも流されたとか、そんなんを見たら、もう、ええって、多分なと思うんですよ。そういうのをね、何かA Iとかで使って、何かうまいこと動画で何かそういうのをつくって、それをやっぱり防災訓練にしても、何かしら学校の行事ごととかにしても、こういったもので、こういう災害が起こったとき、こちら辺のまち、こんなになっちゃうねんでっていうのをね、何かもろをそれを見たら、結構やっぱりやばいやんっていうふうに思う部分はあるのかなと、それで、さらに防災に関しての意識っていうのを高めてもらうことができたらいいなと思うんです。なので、一応、僕の案としては、そういったもう、ほんまにこの身近なところでそういうシミュレーション動画みたいなんをちょっと全体的に流せるような感じでしたら、もうちょっと意識つくんじゃないかなという意見でございます。はい。

○戸井防災安全担当課長

ご意見、ありがとうございます。おっしゃるようにね、自分の知ってるところの被害がどうなるのかっていうのは、あまり想像したこともないでしょうし、ショッキングやと思うんですけど、ただおっしゃるように、何かできたらいいんですけど、なかなかA Iとかも、私らまだついていけない部分もあるんで、できるところはちょっとね、模索しながら、それに近いことなのか、自分の経験に落とし込めるような何か仕組みができないのかというのは、ちょっと引き続き検討をしてみたいと思いますので、またいろんな意見をいただけたらと思います。ありがとうございます。

○五十崎部会長

大山さん、お願いします。

○大山委員

今、山中委員から言われたように、やはり近く、もう本当の自分の身近なところが、まず一歩だと思うんで、うちの地域も、なかなかその何かしようといっても集まるのも少ないし、だから、もっともっとこんなやでって、もっともっとみんな寄ってよとかね、何かそんながあればいいんですけど、なかなか出てくれないですね。いつも、もう同じメンバーでというのが多いです。もうちょっと頑張らないとと、思いますけどね。

以上です。

○五十崎部会長

ありがとうございます。

○中川委員

ちょっと、この前その防災フェアで、ここで借りたビデオがあったんですけど、それを流したんですけど、あんまり関心がなかった。流してるだけで。

○五十崎部会長

どんなビデオだったんですか、内容。

○中川委員

何やったかな、どんなんやったっけ、借りたの。忘れてしもうた。

○峯上防災安全担当課長代理

一般的なものですね。

○中川委員

3本あったんですけど、特に関心がなかった。

○戸井防災安全担当課長

津波・高潮ステーションって皆様ご存じですかね。大阪府の施設で、阿波座のちょっと下りてすぐのところらへんに新しい建物が建ってまして、ちょっとこの前、行ってきたんですけども、建物としては何でしょう、津波をテーマにした、そういった津波が来たらというような想定で、過去の津波の経験とか、そういった歴史も含めて展示してある小さい建物なんですけども、ちょっとまた興味があったらご覧いただきたいんですけど、そこで体験できるようなシアターみたいなんがありまして、そこで、今おっしゃるような自分の四方から水が押し寄せてくるような映像が流れてくるんです。これを広めるために、今度の防災特集の形で、広報紙さざんかのところに載せるんですけど、今からでもYouTubeで津波・高潮ステーションで検索をしていただきますと、そういった映像が、同じ映像が流れるようになってございます。ですので、それも今ちょっとね、ご覧いただいているかもしれませんが、体験という形でご覧いただけるかなと思ってます。

ひょっとしたら、ちょっと導入が映るかもしれませんが、お時間いけるかな。いけますね、まだいけますね。ちょっとお待ちくださいね。

○五十崎部会長

以前に行ったとき、僕も聞いたんですよ。何かあったら、DVDか何か、図書館なり貸し出してるかとか、そういうのを聞いたんだけど、そのときは、もう何年か前なんですけど、そのときはそういうのがあって。

○戸井防災安全担当課長

うん、今ね。

○五十崎部会長

このYouTubeも、そのときはなかったんですよ。

○戸井防災安全担当課長

なかったんですね。今は、ちょっと見られるんですけど。

○五十崎部会長

ええ、まだYouTubeが見られるだけで。

○戸井防災安全担当課長

現地に行くと、四方に立体的に。

○五十崎部会長

何かこうね、DVD化なんかして、図書館でも貸出しとか、そういうのをしてくれたらいいなと思って、それはちょっと提案で、向こうで言うたことはあるんですけども。

○玉置副区長

一応、ホームページに今、載せようとしてる分は、すいません実は、今度広報紙で、ちょっとQRコードをわざと載せて、見ていただけるように一々ホームページまで検索しなくてもというふうな、ちょっとそういう仕掛けは考えてはくれているんですけど、6月号。

○戸井防災安全担当課長

6月号です。水害特集です。

○五十崎部会長

やっぱり、山中さんが言うたように、映像で見るいうの、僕もやっぱり、これ防災のきっかけが、やっぱり東日本のあの津波の映像、リアルな。あれを見て、何だ。理由は分からへんのですけど、次は俺の番やいう感じで、こっちへ来るいう感じでね。

○峯上防災安全担当課長代理)

音が、システムのちょっと音が出ないかもしれないんですけど、現地に行ったら、これが3Dで映っているんです。前回の会議でのみなさんからのご意見で、こういう映像を見てもらうのがいいよねということで、次の広報紙でQRで飛ばして見てもらう仕掛けをしてるんですけど。

(津波・高潮ステーションの映像)

○戸井防災安全担当課長

長時間すいません、この全く同じ映像が、足元に水が押し寄せるみたいなしつらえで、3Dになって体験できるというか、自分事に捉えるような施設になってます。

今の映像を見ていただきますと、実際こうなるっていうことを自分事として捉えていただくきっかけになるのかなとは思いますが、今おっしゃるように、自分の住んでるところではないので、そこをどうクリアするかという問題はあるかと思えますけれども、一応、ご参考にご覧いただきました。

○五十崎部会長

すいません、さっきの場面で、子どもさんが行ったらあかんという意味分かりますよね。一応、大阪では、6時間ごとに津波が来るということで、やっぱり繰り返し来るいうことをやっぱり覚えていただきたいということと、この間、ちょっと今、関西テレビの気象予報士の片平さんっていらっしゃいますよね。あの人の話で、今、一応、去年の改定で、110分から109分に変ったんですけど、その時間設定はある、その南海トラフの震源域が決まったところで109分、110分という意味で、それよりももっと近かったら、もっと時間が早くなるということで、あまり数字にとらわれていたら、やっぱり固定観念みたいなのが出てきてしまって、その辺がちょっと怖いという話をしとったんですけど、やっぱり来たら、すぐもう高い所へ逃げることが1つの基本、津波にある基本です。この間も、4月20日のときに、後発地震ですか、その情報が出たときにも、やっぱりあのときでも、新聞情報ですけど、や

っぱりすぐ戻られたという方が結構何%とか、半数近くの方がまた戻られたということで、やっぱり東日本のときもそうだったんですけども、やっぱり次の波で亡くなられた方というのがね、結構多かったんですので、注意していただきたいと思います。また、その辺も周りの方に伝えていただきたいと思います。

さっきも話であったんですけども、いつも来るメンバーが同じだとかいうこと、それは、そのとおりだと思います。そのために、ちょっと私自身の考え方では、もう少しより小さなコミュニティーのところでやったらどうないかなと。例えば、マンションやったら、マンション単位でやるとか、そこにお祭りとか。僕のところは、この間はちょっと自転車のあれがあったんで、住之江警察から来てもうて、そういう自転車の講習会をやったんですけど、その前は、私のちょっと知り合いの防災落語家を呼んで、そういう落語と組み合わせたことをやって、後でちょっとお茶をして、いろいろお話をするという、そういうことをやりました。

今、ちょっとお手元に2枚、モノクロの申し訳ないですけど、見にくいですけども、先ほどもちょっと小さいお子さんの方がいまして、私の入っている大阪府防災士会にも、今現在、小学校6年生から、今年ちょっと新社会人1年生になった18歳、19歳のメンバーが6人います。ほんでこの間、5月4日にハルカスで、これも先ほど若い方、主催がこちらも若い方で、この主催の方がインスタグラムで集められたメンバーで、ハルカスの8階でイベントをやりました。うちとこのチームも、心肺蘇生をそういう教えることを体験しました。

この14歳の防災士、佐藤愛美さんというのが、和歌山の智弁学園かな、の中学校3年生で、結構いろんなところで活躍している、例えば、絵本を読み聞かせしたり、このときも、オープニングは若い方がダンスをして、それを引きつけるみたいな感じで。あと、まなちゃんが絵本を読んだり、あと、この一般社団法人、消防救助技術開発というところ、これは東京から来ていただいたんですよ。この方は、東京消防署の今はもうハイパーレスキューに入られておったんかな、そういうところで、実際にここ

でやったんは、家具を下敷きに、仮に私やったら私の上にたんすを覆いかぶさって、それを女性2人だったら簡単に上げられるよという形のそういう体験とか、地域防災リーダーやったら、ジャッキアップとか、そういう救助訓練をやるんですけども、このときは、それを演劇みたいな形でやって、ここに助けられている方、助けを求めている方がおるということで、それを演劇風にやったということがありました。

結構、若い方同士で、その特徴をここに今インスタグラムでどんどんどんどんつながりができているということで、さっきも浜野さんがおっしゃった小学校の、うちとこのメンバーにも、これ一応許可を得てるんで、教育大附属の平野小学校の子です。6年生。この子もいろんな意識が高くて、今、水でね、「水の架け橋」というお水があって、それが、12年間保存するんですよ。それをそこの会社とつながって、教育大のところに何か寄附されたという形のこともあります。

さっきもタスカルの話が出たんですけど、タスカルのところ、そこを小学生の子が見に行って、あそこ、展示品がありますよね。あそこがちょっと少ないからということで、展示物を寄贈されたとかいう形で、結構若い方の活動がすごい活発になってきているなと思います。

一応さっき、附属小学校、教育大の平野小学校もいろいろなホームページとかを見ていただいたら、何かそういう活動がいろいろ出てるんで、また参考になるんじゃないかなと思います。

太郎良さん、お疲れさまです。

○太郎良委員

ああ、はい。

○五十崎部会長

何か一言。

○太郎良委員

ちょっと、これは特にはないです。

○五十崎部会長

今ね、今日見ました。前も同じことのあれなんですけど、より多くの人に防災・防犯活動に参加してもらうための方策について、区民の防災意識の向上に向け、どういった取組が効果的であるかということ。

○太郎良委員

ちょっと今、連合のほうの会議で、ちょうど防災訓練についてということで、ちょっと話をしてきたところだったんですが、うちとしては、今度の6月20日のアドバンスコースの講習会に、全員登録しているメンバーが、できるだけ参加しましょうねということで啓発をかけました。

あと、11月にも地域の全体を挙げての防災訓練、避難所の開設訓練をやりましょうと。そのときに、お昼またぎで開所訓練をするんで、炊き出しも合わせ技でやってみるかということになりました。

できるだけ、連合町会でやっているイベント事有的时候に、PTAさんとか子ども会さんの親御さんに、できるだけこんなやるから来てねというので、できるだけ声掛けを意識的にやるようにしてます。

○五十崎部会長

それで、さっきも出たんですけども、来る人が、いつも限定的になっているとかいう話があったんですけども、その、よりほかの人にも来てもらうためには、どういふことがありますでしょうかね。例えば、僕が思っているのは、体験型のやつがいいかなと思ってんですけど、その辺、ちょっと太郎良さんの意見を聞きたいなと思って。

○太郎良委員

以前にもお話しさせてもらったと思うんですけど、可搬式ポンプを実際に触ってもらう。触れてもらう。やってもらう。まず、1人ができれば、二、三人声かけして、ちょっとでも触れてもらうことをやって、少なからず有事のときには、こんなことや

ったことがある、をまず、まず経験をさせてみるというのが一番必要かなと思いますね。ですので、今回、8月に水鉄砲大会も一応予定してるんですけども、これも去年もやったんですけども、可搬式ポンプで放水して、転がして水をかけてみるというものもあるし、この参加してくれている親御さん、地域の方などで、お父さん、お母さん、一回ちょっと可搬式ポンプのその吐出先がどんなもんか、触ってみてという、まず体験をしてもらう。それから、地域防災リーダーってどんなやねんというのにちょっと興味を持ってもらって、そこから入り口をまず広げることが必要かなと思ってます。

○五十崎部会長

以上。

○太郎良委員

はい。

○五十崎部会長

ありがとう。僕も、これまた大山さんも前来ていただいた、あべてんBOSA Iというのが、ハルカス周辺で、今年9月5日にあるんです。私どもの団体も1つ出しまして、私とこは、あなたの自宅周辺の災害リスクを調べますということで、来てもらったお客さんに重ねるハザードマップをモニター越しに見ていただいて、お宅とこはこういうリスクがありますね、ほんでどうしましょうかと、そういう対応型で話してやっていると。ほかに、体験型で人気があったんが、赤十字さんがやられた無線機でトランシーバーを扱った、子どもさん、結構人気が、そういうのがありましたね。

あとさっき、山中さんが言っってはった、これはね、どこや、どこやったかな。国民共済のコープさんがやられている、VRでゴーグルで、そういう被害想定を見るという形。これも前、僕、ここで提案してもらったんですけど、実際、何かそういうアプリがあるみたいで、これを見たら、例えば、この周りで見ると、ここの浸水がリアルに見えるみたいな感じのやつもあるみたいです。また、よろしかったら、後でこれ見ていただいたら、結構、35ぐらいのブースがまたあります。

住之江区では、西尾レントオールさんも参加、去年から参加されてます。いろんなブースがあるんで、また見にきていただいたら、いろんな。ただ、範囲が広いんで、いろいろ百貨店の中と、ほんで、キューズモール、ほんで、てんしばとか、後ろのなんやったかな、何かで、いろんなブースがあって、そこをスタンプラリーでちょっとつないでいくという形でやってますので、また参考になればと思います。

ほかに何かありますか。

○浜野委員

いいですか。

○五十崎部会長

はい。

○浜野委員

あとね何か、一応、避難とかいう話題は、よくこういうところで出てくるんですけど、私、ちょっと仕事上、そういう汚泥とか扱っているんで、実際、関係会社が被災地に行って、そういうお仕事に携わるということがあって、いろんな何ていうか、現地の話をいっぱい聞いてて、一個、結構抜け落ちてるなと思うのが、避難所とかでの犯罪とかね、そういう被害ってすごく起こってて、あまり報道とかもそんなされていない部分も多いじゃないですか、ちょっとね。なので、ちょっと実際聞くと、結構ショッキングなこと、例えば、お手洗いに行くのでも、女性1人だと、50代と70代とかかな、のおばあさんが行って、実際そこで性被害に遭ったりとか、子どももそうなんです。だから、やっぱり、2、3人で必ず固まって行きましょうとか、そういう教育って私も含めて受けてきてないから、やっぱりそういう何か、ぜひ子どもたちとか、みんなに発信してもらえる場があればいいのになってすごく思って、私は、会ってそういう話は伝えてはいつてるんですけど、なかなか子どもを持つ親としても心配なことがたくさんあるなと思って、実際に命が助かって、せっかく避難所に行って暮らしを立て直すために行っているのに、何かそれを苦に自殺されたとかいう話も聞い

たりとかね、ちょっとそれは避けられたんじゃないかみたいな部分があったり、あとは、救急というか消防士さんとか、レスキューが来る前に、誰が一番早いかっていったら、泥棒が一番早かったとかで、だから実際、ネットワークがあるって。家にいなくなるところに入って盗むとかね。だから、やっぱり、ただでさえメンタルが弱っているときに、そういうことって事前に何か聞けてたら、何か守れるものが、本当に大事なものとかな、守れるものがあるんじゃないかなというところを思うんで、何かそういう発信ができていける場があればいいなとすごく思います。

○五十崎部会長

その辺、体験された方いうか、この間も大正区で、避難所を二百何日間やられた方のお話も聞いた。まあ、そういう話はちょっとなかったんですけど、実際にそういうのがあって、僕も大阪北部地震のときに、ブルーシートとかそういうあれがあったときに、方々聞いたんは、ブルーシートをかけるのに30万とかぼったくりの話が、もうそこらじゅうで聞きました。そやから、本来はもう、あそこのときは、茨木ベースで僕らボランティアやったときは、大体3万で、ほんで、台風18号のときは、岸和田に行ったんですけど、岸和田のときは社協さんの厚意で1,000円で済んだという。そういう被害も、避難所の被害も、やっぱり確かにありました。

○浜野委員

そうですね。

○五十崎部会長

逆に、阪神淡路大震災のときは、ボランティアがやってる人も、中にはまだ、うん、そういうちょっとボランティア同士がこういうことで、ちょっと全然いう話も、初めはね、そのときは。それからまた徐々に変わってきてますけども、そやから、実際にそういう表に出てきてない部分というのが確かにある。その辺を大きく言えば、国がどうやっていくか、この秋の防災庁を立ち上げて、その中でどうやっていくんかもよう分かりませんが、そういうことやっぱり必要ですね。やっぱりね。

そういうことで、もう時間もそろそろなんで、もう最後ないですか。太郎良さん、大丈夫ですか。そしたら、よろしいでしょうか。はい、そしたら、今日はちょうど、今何時ですか。ちょうど8時になりましたですね。はい、すいません。

最後、はい、それでは予定しておりました時間になりましたので終了したいと思います。

本日の会議内容につきましては、区政会議の全体会において情報共有を図ることとしていますが、今回の区政会議全体会は、6月22日、ちょっとメモをしていただけますかね。6月22日に開催予定としています。決定次第、事務局からお知らせいたします。

また事務局におかれましては、本日の議論内容を整理いただき、全体会で報告できるよう資料の取りまとめをお願いいたします。

本日、予定していました議題は以上でございますので部会を終了いたします。議事進行にご協力をいただきありがとうございます。

最後に、事務局から何かありましたらお願いいたします。

○戸井防災安全担当課長

長時間お疲れさまです。部会長、ありがとうございました。

本日は、長時間にわたりご議論いただきまして、いただいたご意見をしっかり受け止めまして、今後の区政に反映していけるよう取り組んでまいります。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

本日の議論を踏まえまして、部会長より指示がございました全体会でのご報告する資料につきましては、事務局と部会長に一任いただいてもよろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、これで、住之江区区政会議第1回防災・安全部会を閉会いたします。

本日は、どうもありがとうございました。お疲れさまでした。

以上